

講義科目	: 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	単位数	: 3
担当	: 長友 薫輝	学習形態	: 自由選択科目
			社会福祉士必修科目
			* 第2学年で履修

講義の内容・方法および到達目標

社会福祉援助技術現場実習Ⅰで経験した成果と関連させながら、社会福祉援助技術現場実習Ⅱに即して、自身の知識と考えを深める。また、社会福祉施設の機能と課題に対する認識をより具体的に把握し、個人・実習記録の作成などを通して実習への指導を展開するなかで、福祉専門職としての感性、自己覚知、記録、利用者との援助関係の持ち方などについてスーパービジョンを受けることを目標とする。

授業計画

1. 実習オリエンテーション（全体）
2. 実習プログラムや実習課題の達成についての検討
3. 実習報告書の作成
4. 実習体験の共有化を進める（グループでの討議や発表）
5. 実習体験の共有化、発表（グループでの討議や発表）
6. 実習先の業務や組織・法的根拠の理解と現場が抱える課題
7. 実習に向けての準備と指導 一対人関係と社会的マナー
8. 実習施設の種類と概要
9. 実習施設の現状と課題
10. 実習生個人票の作成
11. 実習計画書の作成、個人の問題意識を中心にアウトプットを図る
12. 実習計画書の作成、社会的な意義をふまえて作成を進める
13. 実習計画書の作成、実習目標との整合性を図る
14. スーパービジョンの方法と場面を理解する
15. スーパービジョンの実際と、フィードバックによる活用を理解する

教材・テキスト・参考文献等

追って指示する。

成績評価方法

出席時におけるレポート（50％）、実習報告の準備内容と結果（50％）を総合的に判断し最終評価を行う。

その他

1年次での実習経験という成果と反省点を生かし、今期の実習につなげられるように積極的に取り組むこと。また、本実習は学外での学習活動と連動している科目であることを強く意識し、福祉専門職としての自覚と責任、人権意識と職業倫理に留意し参加することを求めます。